

心理科学研究会
『新・育ちあう乳幼児心理学』
テキスト採用者向け資料
有斐閣

- この図表データは、心理科学研究会編『新・育ちあう乳幼児心理学』（有斐閣）を大学のご授業等のテキストとして採用いただきました先生方に限定して著作権法で認められた範囲内で提供しております。ご講義などにぜひご活用ください。
- ご利用の際は、以下の3点につきましてご留意いただきますよう、お願い申し上げます。
 - ①本データを商用利用しないこと
 - ②本データを第三者に譲渡しないこと
 - ③本データを教育目的以外に使用しないこと

〈エピソード5-1〉みんないろいろ！

朝10時すぎ。静かな保育室では、かずは(0:8)が午睡をしています。保育室から乳児用園庭につながるテラスの端では、うつぶせになったふみ(0:8)が、“出ていこうかな……”と迷っているように土に触れています。筆者が来たことに気づくと、ふみは一瞬でこわばった表情になり、筆者を見つめたまま動きを止めてしまいました。

はると(1:3)とひろき(1:0)は、1歳児クラスの子どもたちといっしょに園庭で草を摘んでいます。草を手にしたひろきが筆者のほうに歩いてきて、「ん！」とさしだしてくれました。「ありがとう」と言われてにっこりするひろき。しばらくすると、また「ん！」。「どうぞ-ありがとう」のやりとりを楽しんでいます。

〈エピソード5-2〉こうしたら動くんだ！

おばあちゃんがりこ(生後5日め)に初めてのプレゼントをくれました。だるま型のおきあがりこぼしで、揺らすとコロコロと音が鳴る玩具です。りこがあおむけで右を向いているとき、母親が目の前20cmほどの場所に置いて揺らすと、りこはじっと見つめています。りこが大きく腕を動かすと右手が玩具に当たり、揺れて音が鳴ることもありました。毎日そうしているうちに手が玩具に当たるが増え、生後8日めには5分以上玩具に視線を向け続け、腕を繰り返して動かして「あそぶ」ようになっていきました。

〈エピソード5-3〉バルーンで「ばあ！」

8か月から1歳2か月までの子ども10人と保育者3人が保育室にいます。布の端を持った保育者たちが「いないいなーい」と言いながら布をふわりと持ち上げ、空気をふくませて子どもたちにかぶせました。少し離れた場所にいたひとみ(0:11)にも声をかけ、布の下に招き入れました。保育者たちが「ばあ！」と言いながら布を持ち上げると、ゆみ(0:9)が泣きはじめました。「こわかったかな。ほら、大丈夫」とA保育者がゆみを膝にのせ、次の「いないいない」ではゆみといっしょに布のなかに入りました。さやか(1:1)が布の端から自分で顔を出して「ば！」と言うと、そこにB保育者が顔を近づけて「ばあ！」。また保育者たちが布を持ち上げたときには、1人ひとりに順番に声をかけていきます。さっき泣いていたゆみも、もう笑顔です。うつぶせでじっとしているけれどB保育者の顔がみえるのにっこりするいくま(0:7)。布の下を四つ這いでくぐり抜け、C保育者と顔を合わせてキャッキョッと笑うようた(1:0)。みんなそれぞれのやり方でバルーンを楽しんでいるようです。

〈エピソード5-4〉はじめまして

今日が初登園のみなみ(0:2)。「おいしいなあ。いっぱい飲もな(飲もうね)」と話しかける保育者の目を見つめ、ミルクを全部飲みました。そこへ登園してきたれん(0:5)といっしょに、キルトマットの上でほっこりタイム。保育者が2人に、天井からゴムで吊られた玩具をみせました。うつぶせ姿勢のれんが片手で玩具をつかんで振り動かすと、木のビーズと鈴が揺れて音が鳴りました。まだ左右非対称のあおむけ姿勢で自分では玩具をつかめないみなみも、れんが動かした玩具に目を向け、身体をもぞもぞと動かして微笑んでいます。